

令和7年度 第1回 岡津小学校地域防災拠点管理委員会

日時 令和7年5月25日(日)午前10時～ 会場 岡津町内会館

- 1、地域防災拠点について
- 2、地域防災拠点運営委員会とは
- 3、令和7年度の地域防災拠点の活動

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

1、地域防災拠点について

- (1)地域防災拠点の役割
- (2)地域防災拠点設立の背景と対象エリア
- (3)防災拠点開設と運営委員会
- (4)地域防災拠点開設から閉鎖まで

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

(1)地域防災拠点の役割

☞ 地域における「防災・減災の中心的な役割」を担う

■防災拠点の3つの機能

①指定避難所

▶ 震災により自宅居住が困難になった方が一時的に生活する場合
食料・飲料水・日常品の備蓄、仮設トイレ・災害用給水タンク設置

②物資情報の中継基地(ターミナル)

▶ 救援物資の集積分散・災害関連情報の受発信)

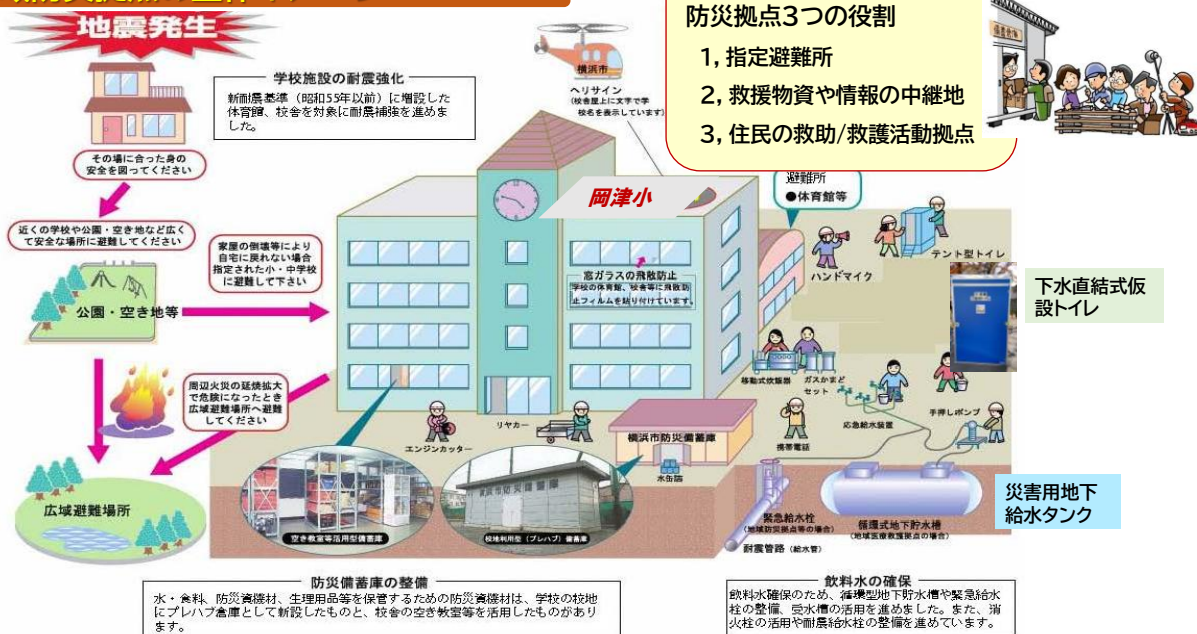
③住民による救助救護の拠点

▶ 救助救護用資機材が配備

防災拠点イメージ



地域防災拠点の全体イメージ



(2) 地域防災拠点設立の背景と対象エリア

■ 設立の背景

☞ 阪神淡路大震災(平成7年1月)を教訓に、横浜市が同年4月から、横浜市が市立の小中学校に整備を開始。

現在、市内459校、泉区内23校が指定

教訓とは

■ 対象とするエリア

☞ 近隣の10自治会町内会(≡岡津小学校学区)

岡津第1、第2、第3、第4、岡津新町、岡津町西部、あおば、ルネ戸塚弥生台、みやこの杜、グレース山手台

▶ 世帯数 約4千世帯、 ▶ 総人口 約11,000人

(3) 地域防災拠点の開設と運営委員会

■ 横浜市内のいずれかで、震度5強以上が観測された時、市内の全拠点が開設される。

☞ 東日本大震災

* 震度5強 = 横浜市中区、西区、神奈川区、港北区日吉

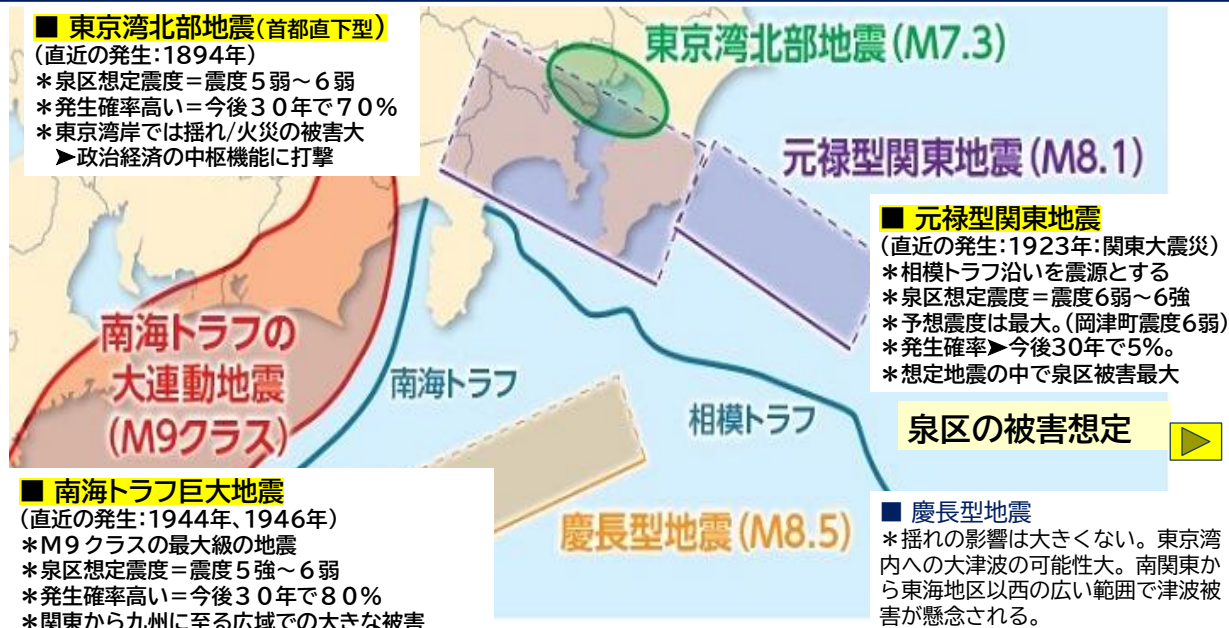
* 泉区岡津町は震度5弱

震度5強以上の可能性

■ 拠点の開設及び運営は、住民代表・学校関係者・及び行政の担当者に構成される「拠点運営委員会」によって行われる。

(1) 泉区に想定される大地震

2020年泉区防災計画より



(2) 大地震と泉区の被害想定

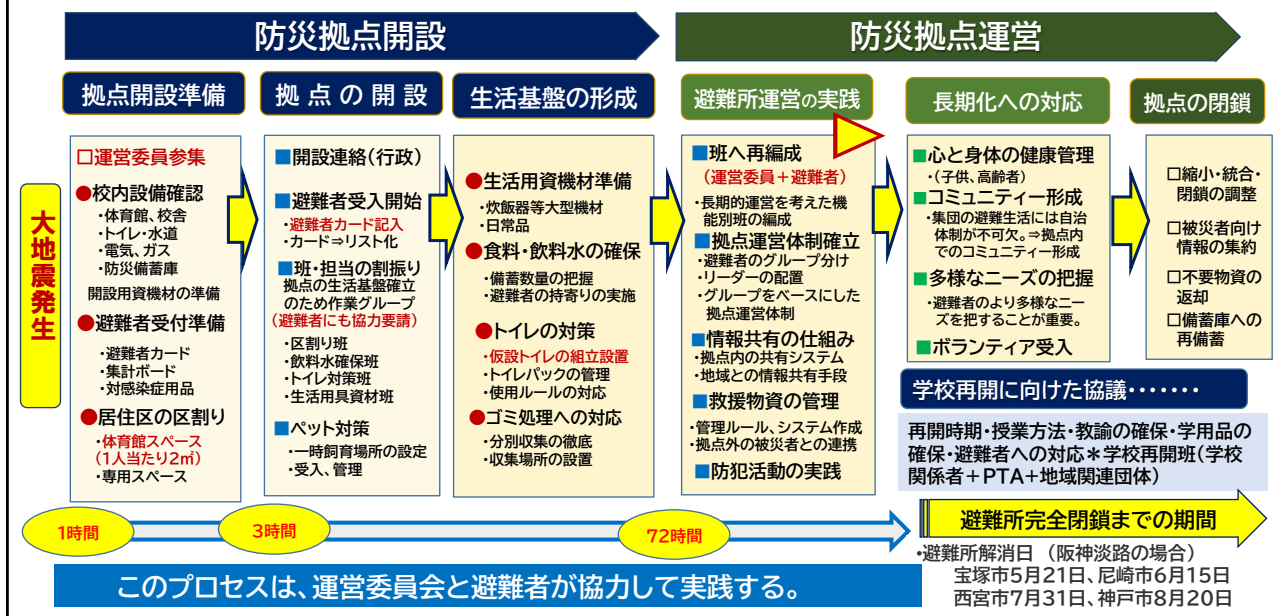
2020年泉区防災計画より

	元禄型関東地震	東京湾北部地震	南海トラフ巨大地震
建物全半壊被害(棟)	6,239	128	211
火災焼失棟数(棟)	3,339	250	0
建物倒壊による死者(人)	45	0	0
火災による死者(人)	55	4	0
負傷者	742	19	22
避難者(人)	22,455	3687	4454
上水道断水世帯	11,839	3284	4488
下水道機能障害世帯	2,268	821	841
停電世帯	9,608	326	0
都市ガス供給停止件数	36,064	0	0

泉区世帯数 64,254世帯 人口 150,646人



(4) 地域防災拠点開設から閉鎖まで



【震災時拠点開設後の運営と各班の活動】

震災時には、参集できた**運営委員**と**避難者**が協力して、拠点の運営に当たる。
運営の基本は、相互扶助・全員参加・性別や一部の世代に偏らない

拠点運営のポイント

- 組織体制と共同生活を維持するルール作り
- 拠点内、地域、公的機関との情報共有
- 拠点内の安全安心確保/防犯対策の実施
- 救援物資の必要数の把握と要請・受入・管理・配布
- 各単会防災対策本部との連携

班 名	主な業務
庶務班	*避難所の管理運営統括 *区本部との連絡、調整 *ボランティア受付
学校再開班	*学校再開に向けての総合調整 *保護者+PTAとの連携
救出救護班	*住民による救出救護活動関連 *地域の被災状況の把握
食料物資班	*水(飲料水・生活用水)の確保 *食料の調達、配布に関する事 *備蓄品/救援物資の管理配布
情報班	*避難者カード及びリスト管理 *各種情報の管理、発信 *在宅避難者への情報受発信
防災部長班	*各単会防災対策本部の立上げ

2、地域防災拠点運営委員会

- (1) 防災拠点の運営母体としての運営委員会
- (2) 運営委員会の主たる役割
- (3) 岡津小地域防災拠点運営委員会の体制

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

(1) 拠点運営の母体としての運営委員会

- ☞ 防災拠点の運営母体は、**地域住民、学校関係者、自治体担当者**によって構成された**防災拠点運営委員会**。

【運営委員会の活動の目的】

- ☞ 災害発生時、地域の助け合いによる**自主的な拠点運営**がなされ、安全かつ秩序ある避難生活が可能となるよう**地域住民の相互協力による防災活動の促進**を図る。(泉区運営委員研修)

大きな震災が起きた時、早い時点で公的な援助を期待する事は極めて難しい。⇒地域住民が共同で対応せざるを得ない。

(2)地域防災拠点運営委員会の主たる役割

平 時

震災に備えた準備活動

- ① **実効性のある拠点訓練の実施。**
《行政及び防災関連機関と連携》
- ② 訓練や研修に、**多くの住民が参加
得る環境作り。**《町の防災組織と連携》
- ③ 拠点運営に対応できる**人材の育成。**
《運営委員の育成及び一般住民への理解促進》
- ④ 拠点の**設備及び資機材の維持管理**
- ⑤ 震災時の諸課題抽出と対応策の検討

震災発生時(震度5強以上)

地域防災拠点の運営

- ① 防災拠点開設
《校内設備確認→避難者受入準備→避難者受入》
- ② 避難所の生活基盤の形成
《食料・飲料水確保・避難スペース作り・トイレ対策》
- ③ 拠点運営の実践
《体制作り(避難者と共に)・情報共有・救援物資管理》
- ④ 長期化への対応
《コミュニティ形成・避難者ニーズの把握&健康管理・ボランティア受入》
- ⑤ 学校再開/拠点閉鎖

(3)岡小地域防災拠点運営委員会の体制(令和7年度)

平時の体制

人数の最終確定は6月末

【平時の運営委員会の役割】

▶災害発生に備えた拠点对応力の強化
(効果的な訓練の実施、人材育成、地域連携)

平時の拠点運営委員の編成

班 名	人 数	編成メンバー
庶務班	14	・単会会長10・連合2(会長、事務局) ・交通1・防犯1
救出救護班	10	・単会より1名
情報班	10	・単会より1名
食料物資班	10	・単会より1名
防災部長班	10	・単会より1名
学校再開班	14	・岡津小2・岡小PTA1・岡中PTA1 ・キッズ2・青少年4・スポ推4
活動支援G	7	・消防1・消防団1・区役所2・連合2 ・岡津中1
合計	75	

拠点管理委員会

所 属	人 数
単会会長	10
連合町内会	4
岡津小	2
区役所	2
岡津消防署	1
消防団	1
合計	20

【訓練実行委員14名】

※班長6名
(庶務、防災部長、救出
救護、情報、食料物資、
学校再開)

※運営担当8名
▶会長選抜+連合役員

【管理委員会の役割】

▶平常時の拠点活動の
企画・調整・推進。

▶具体的活動

- ①活動方針の策定
- ②活動計画の立案
- ③組織・体制の管理
- ④資機材・備蓄品管理
- ⑤関連部門(行政、消防等)
との調整

【実行委員の役割】

- ▶訓練内容の精査
- ▶訓練実施の準備
- ▶訓練当日の進行
運営

非常時の体制

震災時には、参集できた運営委員と避難者が協力して、拠点の運営に当たる。

班 名	主な業務
庶務班	※避難所の管理運営統括 ※区本部との連絡、調整 ※ボランティア受付
学校再開班	※学校再開に向けての総合調整 ・保護者+PTAとの連携
救出救護班	※住民による救出救護活動関連 ※地域の被災状況の把握
食料物資班	※水(飲料水・生活用水)の確保 ※食料の調達、配布に関する事 ※備蓄品/救援物資の管理配布
情報班	※避難者カード及びリスト管理 ※各種情報の管理、発信 ※在宅避難者での情報受発信
防災部長班	※各単会防災対策本部の立上げ

令和7年度 岡小防災拠点運営委員会管理委員メンバー

※ 今期からの新しいメンバー

	役 職	名 前	所 属
1	委員長	北島 良三	岡津第三町内会会長
2	副委員長	安室 秀一	岡津第一町内会会長
3	副委員長	萩原 輝夫	岡津第二町内会会長
4	委 員	渋谷 孝	岡津第四町内会副会長
5	委 員	森 駿也	岡津新町町内会会長
6	委 員※	川原 敬伸	ルネ戸塚弥生台自治会会長
7	委 員※	栗林 裕貴	あおば自治会会長
8	委 員	關田 康雄	岡津町西部町内会会長
9	委 員	植松 利恵	みやこの杜自治会会長
10	委 員	砂原 雅樹	グレーシア山手台自治会副会長

	役 職	名 前	所 属
11	委 員	下畝 直人	岡津小学校校長
12	委 員	眞壁 弘明	岡津小学校副校長
13	委 員※	平井 大輔	泉区役所戸籍課課長
14	委 員※	小野瀬 夕湖	泉区役所地域振興課担当係長
15	委 員※	石谷 大起	泉消防署岡津出張所
16	委 員	石川あかね	泉区消防団第二分団
17	委 員	小泉 正彦	中川連合町内会会長
18	委 員	酒井 浩一郎	中川連合町内会防災委員長
19	委 員	山岸 俊章	中川連合町内会総務
20	委員(事務局)	小 林 玲 子	中川連合町内会総務

3、今年度の防災拠点の活動

- (1)拠点活動に対する基本的な考え方
- (2)令和7年度 防災拠点活動計画
- (3)令和7年度 活動スケジュール

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

(1) 拠点活動に対する基本的な考え方

① 地域における防災拠点に関する理解の拡大

☞ 震災発生時の「住民のより安全で適切な行動」をフォローする為に、以下の3点を中心に、より多くの住民に「地域防災拠点」の理解を広める。

- ① 地域防災拠点の概要 ② 備蓄品・大型設備の理解 ③ 避難所の体験

② 緊急時に拠点運営に対応できる人材の育成

☞ 運営委員の能力向上のために、運営委員に向けた訓練と運営委員が訓練をする側(訓練者)になる一般向け訓練の2つ訓練を実施する。

☞ 一般向け訓練への各単会の班長の訓練参加を継続、拠点理解の広がりを図ると共に、緊急時に拠点運営へ参加、協力が可能な層の拡大をめざす。

(2) 令和7年度 防災拠点活動計画

- ① 運営委員全体会議(岡津町内会館)令和6年7月13日(日)午後
▶ 地域防災拠点の理解と今期の運営委員会活動

② 運営委員向けと一般住民向けの「2訓練」の実施

☞ 運営委員向け訓練 令和7年11月16日(日)午前中
▶ 拠点開設訓練を中心に実施(開設プロセスの条件追加)
▶ 泉区地域防災拠点同時訓練との連携

☞ 一般向け訓練 令和8年 1月25日(日)午前中
▶ 被訓練者＝班長をメインにしつつも、拡大を検討
▶ 座学、避難所体験、大型設備見学の3本立て

《補論》運営委員向け訓練について

☞ 拠点開設訓練に特化して行う

(理 由)

- ▶ 内容の問題: 班別訓練は内容が多岐の亘り、複雑である。▶
- ▶ 時間の問題: 限られた時間(年1回、実質3時間程度)の中で、複雑で多岐多岐に亘る訓練の実施は困難。
- ▶ 人材の問題 = 1年で入れ替わる委員(被訓練者)が大半(昨年70%)であり1年完結型の訓練の実施が現実的。また班別訓練を実施する場合、専門的な訓練者(指導者)の育成は、現状の防災拠点体制で可能か・・・疑問。

☞ 大震災発生時、まず地域住民が担う「防災拠点開設」に対する訓練に特化すべきと考える。《現実的、かつ訓練の実効性がある》

① 運営委員訓練の内容について



防災拠点開設訓練(合同訓練)

拠点 開設 準備

□運営委員参集

●校内設備確認

- ・体育館、校舎
- ・トイレ・水道
- ・電気、ガス
- ・防災備蓄庫

開設用資機材の準備

●避難者受付準備

- ・避難者カード
- ・集計ボード
- ・対感染症用品

●居住区の区割り

- ・体育館スペース(1人当たり2㎡)
- ・専用スペース

拠点 の 開設

■開設連絡(行政)

■避難者受入開始

- ・避難者カード記入
- ・カード⇒リスト化

■班・担当の割振り

拠点の生活基盤確立のため作業グループ(避難者にも協力要請)

- ・区割り班
- ・飲料水確保班
- ・トイレ対策班
- ・生活用具資材班

■ペット対策

- ・一時飼育場所の設定
- ・受入、管理

生活基盤の形成

●生活用資機材準備

- ・炊飯器等大型機材
- ・日用品

●食料・飲料水の確保

- ・備蓄数量の把握
- ・避難者の持寄りの実施

●トイレの対策

- ・仮設トイレの組立設置
- ・トイレバックの管理
- ・使用ルールの対応

●ゴミ処理への対応

- ・分別収集の徹底
- ・収集場所の設置

これまでの開設訓練のプロセスをベースに、より詳細な条件を追加して、実効性のある内容を組み立てる。

《開設プロセスの追加条件(案)》

① 泉区防災拠点同時訓練との連携

▶ 開設連絡&状況報告

= アマチュア無線チームとの連携

② 避難所ヘルプカード▶ 障害者への対応

③ ペット飼育対応▶ 一時飼育場所&受付

④ 備蓄品の把握(食料、飲料水など)



★ 泉区一斉訓練とどの様に関われるか

★ これまでのチーム分けでいいか

★ 訓練シナリオの調整

大地震発生

② 一般拠点訓練の検討事項(参加人員の増加)

参加対象はこれまで通り、班長選抜でいいか？

- ▶1回の参加実績 100～130人(全単会の班長の50%)
(管轄エリアの世帯数＝約4,100世帯・・・3回の累計参加数は10%程度)



訓練参加者を増やすには

- (a)班長の条件を外して、広く告知する？
無作為(任意)にしたとして、参加者が増加するか？可能性は低い
訓練プロセスの点から、事前に人数の概算把握が必要になる。その為の追加作業を単会に依頼する(作業量が増大する)ことになるが、可能か
- (b)班長 + α (例えば班長の家族or訓練未経験の役員を対象にする)
この場合でも、事前の人数の概算把握が必要になる。

(b)の方法を前提に、早期の対応を考えたい。

(3)令和7年度 活動スケジュール

実施日時		タイトル	出席要請	活動内容	
令和7年	5月25日(日) 10:00～11:30	第1回管理委員会	管理委員	会議	・年間活動計画の確定・訓練実行委員の選任
	7月13日(日) 13:30～15:30	運営委員全体会議	全運営委員	会議	・今年度活動計画の説明・新運営委員向け研修
	9月 7日(日) 13:30～15:00	第2回管理委員会	管理委員 + 班長	会議	・2つの訓練(運営委員 & 一般訓練)内容の確定
	10月5日(日) 10:00～11:30	防災倉庫棚卸整理	訓練実行委員(運営担当 + 班リーダー)	作業	・備蓄品棚卸・訓練資機材の確認倉庫整理
	10月26日(日) 10:00～11:30	運営委員訓練 事前打合せ	訓練実行委員	会議	・訓練プロセスの最終確定と行動確認 ・訓練用資機材の確認
	11月16日(日) 8:00～12:00	運営委員訓練	運営委員 + 行政等協力部門	訓練	・拠点開設/避難者受入訓練 ・大型設備の運用理解
	12月21日(日) 10:00～11:30	一般拠点訓練 事前打合せ	単会会長・訓練実行委員	会議	・訓練プロセスの最終確定と共有 ・訓練用資機材の確認
令和8年	1月25日(日) 8:00～12:00	一般拠点訓練	管轄内地域住民選抜 + 運営委員 + 行政等協力	訓練	・防災拠点の基礎理解(座学) ・避難所体験・大型設備の体験
	3月 8日(日) 10:00～11:30	第3回管理委員会	管理委員 + 班長	会議	・年間活動の振り返り ・課題の共有と次年度に向けた検討

*最後に 実行委員(運営担当8名)を決めたい 😊

【実行委員の役割】
▶訓練実施の準備・・・*設備/備品の確認*訓練プロセスの事前理解
▶訓練当日の運営・・・*訓練進行のチームリーダー(班長と協力)及び全体進行のバックアップ

※ 今期からの新しいメンバー

	役 職	名 前	所 属
1	委員長	北島 良三	岡津第三町内会会長
2	副委員長	安室 秀一	岡津第一町内会会長 😊
3	副委員長	萩原 輝夫	岡津第二町内会会長
4	委 員	渋谷 孝	岡津第四町内会副会長
5	委 員	森 駿也	岡津新町町内会会長
6	委 員※	川原 敬伸	ルネ戸塚弥生台自治会会長
7	委 員※	栗林 裕貴	あおば自治会会長 😊
8	委 員	關田 康雄	岡津町西部町内会会長 😊
9	委 員	植松 利恵	みやこの杜自治会会長 😊
10	委 員	砂原 雅樹	グレーシア山手台自治会副会 😊

	役 職	名 前	所 属
11	委 員	下畝 直人	岡津小学校校長
12	委 員	眞壁 弘明	岡津小学校副校長
13	委 員※	平井 大輔	泉区役所戸籍課課長
14	委 員※	小野瀬 夕湖	泉区役所地域振興課担当係長
15	委 員※	石谷 大起	泉消防署岡津出張所
16	委 員	石川あかね	泉区消防団第二分団
17	委 員	小泉 正彦	中川連合町内会会長
18	委 員	酒井 浩一郎	中川連合町内会防災委員長 😊
19	委 員	山岸 俊章	中川連合町内会総務 😊
20	委員(事務局)	小 林 玲 子	中川連合町内会総務 😊

令和7年度 第1回
岡津小学校地域防災拠点管理委員会

以 上

日時 令和7年5月25日(日) 会場 岡津町内会館